

主 文

本件各上告を棄却する。

理 由

弁護人亀岡秀二郎の上告趣意（後記）は、刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。
また記録を精査しても同四一一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四一四条三八六条一項三号により主文のとおり決定する。

この決定は、眞野裁判官の意見を除き他の裁判官全員一致の意見である。

眞野裁判官の意見は、本件のごとき場合には破毀免訴すべきであるというにある
（判例集四巻一〇号一九八三頁以下参照）。

昭和二六年六月一四日

最高裁判所第一小法廷

| | | | |
|--------|---|---|-------|
| 裁判長裁判官 | 眞 | 野 | 毅 |
| 裁判官 | 澤 | 田 | 竹 治 郎 |
| 裁判官 | 齋 | 藤 | 悠 輔 |
| 裁判官 | 岩 | 松 | 三 郎 |